

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

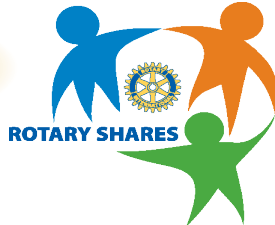
例会:毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【百合】
写真提供：山田昭雄君

会長：村松 英昭 副会長：青島 克郎 幹事：青島 彰 副幹事：仲田 廣志

第1721回



<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 杉浦良一君

2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

■ 会長報告 村松 英昭君

毎日暑い日が続きます。地球の温暖化をひしひしと感じる今日この頃です。本日より新しい年度が始まります。青島幹事共々これからの一年間よろしくお願いいたします。

今年度の課題は2つあります。

1つは、会員増強です。1人でも2人でも仲間を増やすよう会員全員で努力しましょう。もう1つは、CLPによりクラブの組織が変わり、委員会が3委員会になりました。この新しい委員会編成がスムーズに機能するように皆様に理解していただき、行動していただきたいと思ひます。この2点がこの一年かけて行う主なこととなると思ひます。そして、いつも楽しいクラブライフを考えていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

理事會報告 青島 彰君

- 8月度例会内容変更、8月1日外部卓話予定変更、会員増強担当例会とする。外部卓話は8月22日とする。
- 納涼例会7月29日に決定、乗車位置は近々案内の予定。
- 8月度理事会7月25日午後12時30分の開催となります。
- 事務局員勤務規定について、年額、時間外勤務等承認されました。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会について本年度も引き続き賛助会員となることが承認されました。

- 藤枝市柔道祭開会式について青島副会長、青島幹事、酒向奉仕プロジェクト委員長が出席、承認されました。
- 年会費納入について、従来のとおり年会費(半期)のみ及びスマイル合算両方の納入方法で承認されました。

幹事報告 青島 彰君

- 前年度ガバナー事務所閉鎖案内及び礼状を頂きました。
- 藤枝総合病院長より35周年記念事業に対しての礼状を頂きました。
- ガバナー事務所より会員増強・維持セミナー開催案内がありました。松葉増強委員長の出席をお願いいたします。
- 藤枝地区暴力追放推進協議会総会の案内がきています。
- ロータリアン(英語版)が届いています。
- 会員手帳、クラブ計画書配布

出席報告 松葉 隆夫君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
27 / 35 77.14%	27 / 38 71.05%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
○北村君 ○水野君 飯塚君 板倉君 鈴木舜君
鈴木晶君 仲田晃君 望月志君
- (2)メイクアップ者
水野 義猛君(藤枝南) 村松 宏一君(藤枝南)

ビ ジ タ ー

藪崎 幸一君(藤枝南)

スマイルBOX

山田 昭雄君

- 今年度会長をつとめます。よろしくお願ひいたします。また前年度、会員の皆様の御協力によりクラブ運営がスムーズにできましたこと心より感謝申し上げます。 村松 英昭君
- 一年間幹事として一生ケンメイやりたいと思ひます。よろしくお願ひします。 青島 彰君
- 会員増強・維持委員長一年間宜しくお願ひ致します。 松葉 隆夫君
- 前年度は会員増強委員長として皆様のご協力を頂きながらも結果を出す事が出来ず、力の無さを痛感しています。今年度は副会長として村松会長を陰ながら支えクラブの活性化の実現に努力する所存です。 青島 克郎君
- 2006～7年度の広報雑誌委員長として、ご協力ありがとうございます御座居ました。 櫻井 龍太君
- 「小さな親切運動」で静岡産業大学で「実行章」のプレゼンテーションを勤めさせて戴きました。 松葉 義之君
- 楽しい最終例会が出来ありがとうございました。 栗原 毅君

スマイル累計額 41,000円

委員会報告

広報雑誌担当 石垣善康君

『ロータリーの友、7月号 概要説明』

新年度の最初の号ですので、ウィルフリッドウィルキンソンRI会長のメッセージが編集の基本となっています。今年度のテーマ<ロータリーは分かちあいの心>の意味は私たちは自分の時間を分かちあい、才能を分かちあい、資産、そしてやさしさと愛を分かちあっている。あなた自身を惜しげなくひとにとって役立つことのために捧げるという意味です。

今年度、皆さんは今まで以上にロータリーとかわり奉仕プロジェクトと会員増強の両面から積極的に参加してください。

会長挨拶

村松 英明君

2007～2008年度、藤枝ロータリークラブ第36代会長をつとめることとなりました村松英昭です。これからの一年間よろしくお願ひいたします。



36代目の会長のスタート時の会員数が36名というのも何かの縁かと思ひます。

今年度のRIのテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。RI会長はウィルフリッド・ウィルキンソン氏です。彼は以下のようにこのテーマを選んだ理由を述べています。

ロータリアンというのは、実に豊かな多様性に満ちた人々の集まりです。さまざまな国でさまざまな言語を話す私達は、信仰も政治的見解も、ひいては哲学的な信念をも異にしています。

120万人の会員の間に通ずる一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かち合い」という名の精神でできた糸です。ロータリアンは、広大な範囲の人道的、社会的問題に挑むプロジェクトを効果的に遂行する為に、自らの時間や才能、専門知識、資金を分かち合っています。また、思ひやりと熱意を分かち合い、恵まれない人々を助け、より良い世界を築こうという決意を分かち合っています。さらには、ロータリーを世界第一級の奉仕団体へと発展させた比類なき奉仕への情熱を分かち合っているのです。

この基本的ともいえる寛大な精神を2007～2008年度のテーマに反映したく「ロータリーは分かちあいの心」というテーマを選びました。と述べています。また重点目標として前年度より引き続き、水保全、飢餓救済、識字率向上とロータリーの家族を上げています。

また、2620地区の道部ガバナーは分かち合いとは、自分にとって不要になった物を恵み与えるものではなく、人の為に我を忘れて自らを捧げることである。そして、奉仕とは、相手方に一方的

にしてあげるということではなく、分かち合うという気持ちが大切であると言っています。

そして、地区目標のほかに、道部ガバナー方針として次の点をあげています。

- 1) 少人数のクラブのケア
- 2) C L Pプログラムの浸透
- 3) 奉仕プロジェクトの活性化
- 4) 各種寄付の100%達成お願い
- 5) I T化の促進

の5点を挙げています。この5点のうち当クラブで取り組まなければならないのは次の3点だと思っています。

- 1) 少人数クラブのケア 会員増強の問題です。松葉委員長を中心に会員皆で取り組んでいきましょう。
- 2) C L Pプログラムの浸透 すでに立ち上がり今年度より実行していますので、スムーズに機能していくように、会員の皆様に理解していただきたい。また、不都合なところは直していきたい。
- 3) 奉仕プロジェクトの活性化 酒向委員長がいろいろなアイデアを出して下さっています。会員皆で検討取り組んでいきましょう。

私のテーマは「仲間をふやし親しみあおう」です。即ち、会員増強と親睦です。

とにかく、新しい仲間を会員皆でつくりましょう。そして前にもまして親睦を深めましょう。

C L Pにより委員会は3つの委員会になりましたが、委員会の委員の数は大勢になりました。大勢の委員で頻繁に委員会を開き建設的な意見を出し合い当クラブに活力をもたらし、そしてお互いの親睦を深めましょう。この一年間会員の皆様の御協力の程宜しくお願い致します。

幹事挨拶 青島 彰君

村松会長は「仲間をふやし親しみ合おう」と提唱しています。C L P新年度となる本年は会員増強が最大の目標となります。私が新会員となった平成3年は南クラブへの移籍会員がいたとはいえ60名

近い会員数のクラブでした。この年は純増8名、会員の努力の結果が数字に表れた年であったことは言うまでもありません。しかし平成7年を境に会員数は減少傾向に移ります。なにが原因だったのでしょうか。



会員拡大のポイントはロータリークラブの魅力の紹介に尽きると思います。C L Pにより3大委員会となった本年は今までと違って大所帯の委員会となっています。委員会全体での積極的な意見交換がなされ、それを基に行動を起すことが藤枝ロータリークラブの特徴ある魅力づくりに繋がることでしょう。

一年間幹事として会員の満足度向上を目標に微力ですが精一杯努力します。会員諸兄のご協力をお願いして挨拶とします。

(担当 / 青島克)